

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	浅生スポーツセンター	施設類型	目的・機能
	所在地	戸畑区浅生2丁目1番1号	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名 称	戸畑スポーツコミュニティ共同事業体		
	所在地	小倉北区砂津二丁目11番23号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			



徐々にではあるが回復してきていることが前年度比での増加の要因と考えられる。

## (2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

### [所見]

#### 【施設利用について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	85.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	95.2% (48.6%・46.6%)	95.6% (47.2%・48.4%)	97.6% (49.1%・48.5%)	97.3% (46.6%・50.7%)

#### 【職員対応について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	85.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.9% (56.9%・41.0%)	98.3% (56.9%・41.4%)	98.2%、 (58.5%・39.7%)	98.5% (57.3%・41.2%)

#### ※ ・・・評価対象年度

- ・施設利用について、「とても良かった・良かった」の評価が97.3%で、職員対応について、「とても良かった・良かった」が98.5%となり、目標値を上回り、高い満足度を得ている。
- ・施設利用については、指定管理者が新型コロナウイルス感染拡大防止対策を年間通して実施し、安心して施設を利用して頂けるように努めたことが、利用者から高評価につながっていると考えられる。
- ・職員対応については、施設の開放的な総合受付の利点を活かし、指定管理者が明るくわかりやすい表現や丁寧な対応を心がけ、利用者寄り添う接客接客を取り組んだことが評価につながっていると考えられる。

## 2 効率性の向上等に関する取組み

### (1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

### [所見]

【維持管理経費】（単位：円）

区 分	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
委託料	16,529,211	16,906,268	13,996,010	16,262,299	2,266,289
修繕費	750,386	2,380,994	8,298,058	3,675,000	▲4,623,058
光熱水費	28,702,439	24,611,903	27,441,942	33,428,539	5,986,597
人件費	38,645,370	42,667,487	43,243,579	45,273,229	2,029,650
その他経費	5,663,342	5,778,094	11,262,479	5,598,397	▲5,664,082
合計	90,290,748	92,344,746	104,242,068	104,237,464	▲4,604

※  . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費については前年度で概ね同額となった。
- ・光熱水費が増加したが、設備スタッフによる施設・設備の点検（法令点検除く）を行うことにより、施設不備や破損状況を早い段階で認識し、軽微な破損等であれば速やかにスタッフによる修繕を行い、修繕費の抑制を図ったことが要因と考えられる。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所 見]

【施設使用料収入】 (単位：円)

区分	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
体 育 館	29,343,406	16,806,240	12,208,968	21,403,188	9,194,220
プ ー ル	11,203,494	5,759,704	5,224,827	7,021,700	1,796,873
庭 球 場	3,836,128	3,900,072	2,978,572	4,020,708	1,042,136
柔 剣 道 場	1,425,574	1,431,819	1,065,668	1,576,556	510,888
弓 道 場	1,401,770	1,266,120	1,150,590	1,565,770	415,180
収入計	47,210,372	29,163,955	22,628,625	35,587,922	12,959,297

※  . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比にて、12,959千円の増加となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあるが感染拡大防止対策が少しずつ緩和され、利用者が戻ってきたことが要因と考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所 見]

- ・所長と副所長は指定管理施設でのマネジメント経験とスポーツ施設での運営管理経験者を配置している。又、全体のマネジメントを行うため指定管理経験豊富なマネジャー等を補佐として配置して施設運営のルールづくりと問題点の解決にあたっている。
- ・職員全体のタイムスケジュールを細かく設定し、館内の清掃や他の業務フォローまで

マルチに対応できるよう教育指導を行い運営している。

- ・浅生スポーツセンターの正面を彩る花壇について、令和4年度も美観向上を目的に、地元自治会や浅生まちづくり協議会・市民センターとの協働で整備した。
- ・職員の研修として、理念研修・接遇教育・マナー研修・クレーム研修・担当部署毎のシミュレーション教育・AED講習・個人利用対応研修・アリーナ施設の設備取扱についてのレクチャー、トレーニング室の使用や日常管理研修などを行い、スタッフの資質・能力の向上を図っている。
- ・浅生スポーツセンターにて、浅生まちづくり協議会主催のスポーツ大会を開催し、浅生地区の方々の健康増進への取り組みに寄与し、また地域の方とのコミュニケーションの場として交流を図った。

## (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

### 【所見】

- ・個人情報保護についての意識の低下を防ぐため、各所の朝礼・昼礼時に定期的にスタッフへの指導を行っている。
- ・分け隔てなく、同一のサービスを提供できるように、所長等の責任者がスタッフの言動を日常的に確認のうえ指導し、朝礼・昼礼等にて周知している。
- ・施設の不具合は適宜巡回により早期発見し、修繕を行うなどして速やかに対応している。
- ・施設の利用状況を踏まえて危機管理マニュアルを改訂し、スタッフに周知している。消防訓練2回、JVスタッフ全員参加による普通救命講習、アリーナ施設の設備取扱についての安全利用レクチャー、トレーニング室の機器取扱や日常メンテナンス講習を実施している。

## 【総合評価】

### 【所見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあるが感染拡大防止対策が少しずつ緩和され、利用者が戻ってきたことにより、利用者数は、前年度比で88千人、使用料収入は前年度比にて、12,959千円の増加となった。
- ・自主事業教室では引き続き9教室と令和4年度から新たに4教室を開催し、合計13教室を開催した。新たな利用者獲得とサービス向上に寄与した。
- ・令和4年度も地元自治会との連携を深め、浅生スポーツセンターでの花壇づくりの協働作業や、浅生市民センターでの植栽指導を交えた植栽作業、浅生地区のスポーツ大会開

催、その他浅生地区の地元自治会の会合等への積極的な参加など、地元との連携を深めながら施設運営を行っている。

- ・市民の健康維持・スポーツ推進に貢献できる内容として、保健福祉学部福祉学科の稲木教授監修によるマラソン教室を開催した。こちらの教室は敷地内だけでなく、施設敷地外の歩道や公園に出て行う形の教室となっており、市の魅力を再発見できるものとなっている。また、令和4年度から高齢者向け健康増進教室を開催しており、高齢の方でも運動に参加できるような内容となっており、市民の健康維持に貢献している。

**[今後の対応]**

- ・今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。

